

後期西田哲学の実践論第1 「行為的直観」

=== 目次 ===

第1章 意志作用を越えた作用	1
第1節 意志的自己を越えた実践へ (1)	
第2節 行為的直観のノエシスは意識されない (1)	
第3節 意識の階層性 (2)	
第4節 意志作用を越える (4)	
第5節 マインドフルネスという視点から (7)	
第2章 ポイエシスとプラクシス	8
第1節 後期西田哲学の実践の考え方 (8)	
第2節 ポイエシスとは (9)	
第3節 プラクシスとは (9)	
第4節 ポイエシス即プラクシス (11)	
第3章 行為的直観	14
第1節 対象的ではない行為的直観 (14)	
第2節 見ることから行為が始まる (15)	
第3節 作られたものから作るものへ (15)	
第4節 世界から動かされる (16)	
第5節 見ることが働くこと (17)	
第6節 身心一如、物我一如 (18)	
第7節 自覚的直観への実践へ (18)	

参考文献 _____ (20)

注 _____ (20)

【凡例】

本書の西田幾多郎の引用は、西田幾多郎旧全集、岩波書店による。
巻と頁を【5:134】のように示す。